

# 日本頭痛学会ニュースレター 第54号（2025年10月号）



1)第53回日本頭痛学会総会 会長 端詰 勝敬 先生よりご寄稿

2)「第53回日本頭痛学会総会」開催のお知らせ

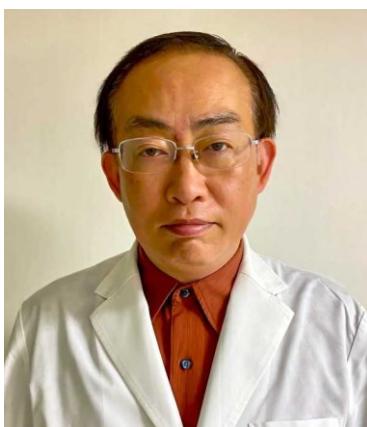
3)「第4回片頭痛に対する認知行動療法講習会」開催のお知らせ

4)頭痛研究トピックス～広報委員より最新の論文をご紹介



1)第53回日本頭痛学会総会会長 端詰 勝敬 先生よりご寄稿

『第53回日本頭痛学会総会のご挨拶』



会長 端詰 勝敬

東邦大学医療センター大森病院 心療内科教授

このたび、第53回日本頭痛学会総会を開催させていただくことになりました。会期は、2025年11月21日(金)・22日(土)となります。会場はここ数年連続で、横浜開催となります。パシフィコ横浜のノースとなります。過去に開催されたパシフィコ横浜は会議棟で、ノースはそこから徒歩で数分かかる距離にあります。最寄り駅の出口の案内などもご参照のうえ、お越しいただくようお願い申し上げます。会場周囲には横浜らしく、海が広がり、観光や食事も楽しめるスポットがたくさんございますので総会の前後でお楽しみいただければ幸いです。

本大会のメインテーマは、「頭痛診療とチーム医療の融合と展開」とさせていただきました。頭痛は脳神経内科、脳外科だけすべてを診られるものではありません。一方、小児科や心療内科、精神科だけでも診ることができない難しく複雑な病態です。看護師、公認心理師、理学療法士、鍼灸師など多職種も含め、頭痛を中心とした立場の垣根を超えた議論がおこなわれることと期待しております。

プログラムとして、特別講演にマインドフルネスと痛みについて企画をしました。マインドフルネスに興味をもっているが、実際にはよくわからないという先生はぜひご参加ください。12のシンポジウム、5つのミニシンポジウム、2つのワークショップ、日本医師会認定産業医研修会、2つの教育セミナー、東洋医学セミナー、東洋医学シンポジウム、認知行動療法講習会、一般口演も例年通り企画しております。また、11月20日のプレコン

グレスセミナーを始めとして、共催セミナー、韓国とのジョイントセミナーには海外からの演者もご登壇されます。今回は新進気鋭の先生に来ていただくようお願いしておりますので、ご期待ください。

今回の第 53 回大会では現地での参加とオンデマンド配信を併用したハイブリッド開催となっております。教育セミナーもオンデマンド配信いたしますので、ご活用ください。

皆様の積極的なご参加と熱い討論を期待しております。宜しくお願い申し上げます。

## 2) 第 53 回日本頭痛学会総会 開催のお知らせ

第 53 回日本頭痛学会総会は「頭痛診療とチーム医療の融合と展開」というテーマで、下記の日程で開催されます。大会長 端詰勝敬先生、顧問 間中信也先生のもと、最先端の頭痛診療を共有・議論し、多職種・多診療科によるチーム医療について考えるための魅力的なプログラムが多数準備されています。すでにオンライン参加登録が開始されていますので、知識のブラッシュアップやスキルアップのために会員の皆様は奮ってご参加ください。なお、本大会は現地開催に加えて会期終了後のオンデマンド配信が予定されています。

1. 開催日：2025 年 11 月 21 日(金)・22 日(土)：会期後に一部オンデマンド配信を予定
2. 会場：パシフィコ横浜 ノース(〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい 1-1-2)
3. 会長：端詰 勝敬 先生（東邦大学医療センター大森病院 心療内科教授）  
顧問：間中 信也 先生（医療法人社団緩和会間中病院 名誉院長）
4. ホームページ：<https://square.umin.ac.jp/jhs53/index.html>

## 3) 「第 4 回片頭痛に対する認知行動療法講習会」開催のお知らせ

このたび「第 4 回片頭痛に対する認知行動療法講習会」が開催されることになりました。本講習会は「片頭痛の認知行動療法マニュアル(治療者用)」のもとに、昨年度と同様の内容で行われる予定です。なお、今年度は、第 53 回日本頭痛学会総会会期中に開催されます。ご参加を希望される場合は、日本頭痛学会ホームページ(<https://www.jhsnet.net/pdf/20251002.pdf>)をご覧いただきお申込ください。

1. 開催日時：2025 年 11 月 22 日(土) 13:30～16:30
2. 会場：パシフィコ横浜 ノース 2F G216
3. 申込締切日：2025 年 10 月 20 日(日)
4. 受講費：3,000 円(事前振り込み)
5. 定員：30 名～40 名程度(申込み多数の場合は、締切後に抽選で決定)

#### 4)頭痛研究トピックス～広報委員より最新の論文をご紹介

- PACAP38 による片頭痛発作誘発作用は CGRP シグナル伝達とは独立した機序で発揮される

Al-Karagholi MAM, et al. PACAP38-induced migraine attacks are independent of CGRP signaling: a randomized controlled trial. J Headache Pain 2025; 26: 79.

掲載日:2025/4/30

- Eptinezumab の慢性群発頭痛に対するオープンラベル試験 CHRONICLE

Tassorelli C, et al. Long-term safety, tolerability, and efficacy of eptinezumab in chronic cluster headache (CHRONICLE): an open-label safety trial. Lancet Neurol 2025; 24:429 440.

掲載日:2025/5/14

- トリプタン単独あるいは予防薬併用による出生前曝露が神経発達症の発症に与える影響

Camanni M, et al. Association of prenatal exposure to triptans, alone or combined with other migraine medications, and neurodevelopmental outcomes in offspring. Neurology 2025;104:e213678.

掲載日:2025/7/4

- 反復性群発頭痛に対する Eptinezumab の有効性と安全性

Jensen RH, et al. Efficacy and Safety of Eptinezumab in Episodic Cluster Headache. A Randomized Clinical Trial. JAMA Neurol doi:10.1001/jamaneurol.2025.1317.

掲載日:2025/7/18

- PACAP-38 による硬膜三叉神経の活性化と感作: 片頭痛との関連性

Christensen RH, et al. Activation and sensitization of meningeal nociceptors by PACAP 38: implications for migraine headache. Brain. 2025 Aug 6:awaf284. doi: 10.1093/brain/awaf284.

掲載日:2025/8/28

#### 【日本頭痛学会 広報委員会】

ニュースレターに関するご意見、問い合わせは<[jhs-office@shunkosha.com](mailto:jhs-office@shunkosha.com)>までお願いいたします。